

「雲よー原点と越境」第5号 11月10日 発行

雲よー原点と越境―(谷川雁研究会機関誌) 第5号

●目次

下部へ、下部へ……「段々降りてゆく」よりほかない時代に……	松本輝夫
雁流「人間は物語的存在」論の構えと起爆力	
【物語・谷川雁の全体像・本論第三部】	
『ピーター・パン』……	仁 衡 琢 磨
――雁が最も慈しんだ物語	
『ロミオとジュリエット』に雁さんが込めた想い……	あ き あかね
松本代表論考・雁流日本神話論を読む……	此 花 咲 耶
村立阿蘇中央病院時代の谷川雁さん回想記……	高 宮 達 生
――第四号掲載の井澤浩二さんのエッセイに触発されて	
「記憶」を喪失するということ、ものがたりの場所……	金 丸 謙 一 郎
――村の再生とテーマ活動について	
すべての「物語」は人の成長譚……	円 戸 津 高 志
『雲よ』を第四号まで読んで……	市 川 敦 子
――こともたちと、そして未来の私のために	
鳶いろの ひとみは	
そらの青うつす 風も砂も……	山 本 紀 志 子
――谷川雁の歌詞『二十歳』から喚起させられる断章	
進化する谷川雁……	内 田 聖 子
谷川雁と保田與重郎……	北 野 辰 一
――序 戸隠の風景と歴史	

【資料編】谷川雁の書状(直筆のまま)

ラボ時代にあるテューターとラボっ子へ宛てた手紙二通

執筆者紹介
編集後記

◎体裁・A5判一六五頁前後 ◎頒価・千五百円(税込)